

## 2023-2025 年度 若年層向け広報に関する企画・実施業務

(公告/公示日：2022年12月19日) について、意見招請実施要項に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構  
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 4	広報企画の立案と実施	大学生相当年齢から20代で、国際協力に関心を持つ層をメインターゲットにし、開発協力及び開発途上国の課題に関する理解の深化や共感の獲得を目的とするとありますが、具体的な数値目標はございますでしょうか。過去参考数値などがあれば、そちらも教えて下さい。	実施する広報施策によって違うため、現時点で具体的な数値は設定していません。契約締結後、計画段階でそれぞれのイベントや企画規模などを踏まえて決定する予定です。なお、昨年度実施した施策の参加者は以下のとおりです。  (参考値) ・グローバルフェスタ ステージ①：リアル会場で約100名、オンライン配信87名が視聴。 ステージ②：リアル会場で約100名、オンライン配信78名が視聴。 ステージ③：リアル会場で約200名、オンライン配信96名が視聴。  ・大学生向けに実施した「世界とつながろうプロジェクト2022 JICA×AFPBB News」セミナー：オンライン視聴203名。
2	P. 4	広報企画の立案と実施	上記質問1に関連して、今回の該当期間である34ヶ月の中での、数値目標の推移などがあれば教えて下さい。	グローバルフェスタの集客などはコロナの状況などにより会場や形式も異なるため、現時点で具体的な数値は設定していません。契約締結後、計画段階でそれぞれのイベントや企画規模などを踏まえて決定する予定です。
3	P. 4	広報企画の立案と実施	現在継続的に実施している広報活動と、その広報活動の評価/検証などがあればご共有いただけますと助かります。	本契約が対象とする若年層向け広報の中では、グローバルフェスタについては毎年、外務省、JANICとともに実施しています。例年2~4件のステージイベントを実施しており、2023年度以降も継続する予定です。コロナ禍ではあるものの、2022年は前年比で115%増の集客があり、一定の広報効果が見込めるイベントとして考えています。
4	P. 4	広報企画の立案と実施	過去数年以内で、同実施業務で評価の高い施策を教えてください。	昨年度実施した施策例は以下のとおりです。  ・AFPBBと連携し、関東圏10の大学の学生を対象に、人間の安全保障などをテーマとしたセミナーを実施。また、セミナー参加者を中心に、AFPBBが保有する写真を活用し、人間の安全保障に関するメッセージコンテストを実施し、グローバルフェスティバルで優秀作品のプレゼンを実施。参加する大学生自ら考えて発信する機会を設けることで、一方的な広報ではなく、同テーマをより主体的に考える機会となった。  ・JICA事業に関するラジオドラマを放送。若年層に訴求力がある俳優等を活用したドラマ(全8回)に加えて、JICA専門家や職員によるトークの回も設定し、関連テーマを重層的に広報。若年層がタイムパフォーマンスを重視する傾向を捉え「ながら聞き」ができるラジオを活用し、プロジェクトの成果等をわかりやすく周知。  ・同様に、JICA事業のヒューマンストーリーや成果、開発課題などをまとめた「プロジェクトストーリー」(既に図書として発行済み)を漫画化。若年層にわかりやすい形で発信。スマホでの閲覧も意識し、Webでも公開。
5	P. 4	広報企画の立案と実施	直近2年で実施した施策の概要及び、予算の概算を教えてください。企画提案の領域がかなり幅広く、1企画の金額感や実施内容についてある程度のイメージを持ちたいためです。	直近で実施した施策については、本回答書の各回答をご参照ください。各企画の金額感については、直近2年の経験に限らず、イベント1件あたり500万から2,000万円、広報施策1件あたり500万から1,000万円程度を想定しています。
6	P. 4	広報企画の立案と実施	上記1~3の質問に関連して、P5ウ(ア)では、定性的、定量的な目標をプランする旨記載いただいておりますが、この数字の決め方や、効果測定の仕組みを作る提案も、判断基準の要因となる想定でしょうか。同様に、イベントの数値目標の設定の仕方について、教えてください。	イベントはコロナ禍なので、リアルで実施できるのか、オンラインなのか、ハイブリットで行うのかで数値目標が変わってきます。また、イベントの会場の規模によっても開催規模が変動するため、契約締結後に、ご提案頂いた企画の場合で数値設定をJICAと相談の上、決定できればと思います。
7	P. 4	広報企画の立案と実施	業務期間の総予算についてある程度、制限がある場合は予め教えて頂けますでしょうか。仮にですが、10億程度の予算で最適だと思われる企画があった場合、それは容認されるのか、といった具体的なイメージを持ちたいためです。過去の実績より数億円規模(2億~3億程度)といったある程度の規模感がイメージできる回答を臨みます。	3年間で総額2億円程度を想定しています。
8	P. 5	(2) イ	著名人及び有識者の活用を検討すること、とありますが、起用は必須になるでしょうか。	必須ではありません。各施策に関して、目的や集客、訴求力を勘案し、ご提案下さい。
9	P. 5	(3) イベントの企画・運営	若年層への認知拡大/理解促進を図る場合、イベントは1つの手段だと考えますが、イベントに比重をかけ、必須として実施する理由や目的を教えてください。また、契約期間中計6~8回程度実施となっておりますが、回数がある程度具体的である理由があれば教えてください。	イベントの年間回数については、効果や効率に鑑み、現時点では最大でも1年間に2~3回かと考えていますが、イベントそのものに比重は置いておらず、あくまでも広報施策の一環として考えています。従い、他に効果的・効率的な施策があれば必ずしも必須としません。ただし、グローバルフェスタについては、国際協力に関連する最大のイベントであり、2023年度以降も参加を予定している点を念頭にご提案下さい。
10	P. 7	JICAの広報に関する各種分析及び助言	この業務において、直近で実施された内容を教えてください。どのような助言をイメージされているかを知りたいです。	直近では、JICAが運営するYouTubeチャンネルの再生リストの整理と効果的な活用、効果的なSNS活用強化に向けた効果的な運用等について助言を受けています。いずれも、若年層を中心とした各媒体の使用傾向や嗜好を踏まえ、JICAからの求めに応じ、具体的な改善方法をご提案頂きました。
11	P. 5	大阪万博を連動を意識したイベント	大阪万博の連動は、出展せずとも、許諾が必要になってくるかと思いますが、それはどのようにお考えでしょうか? それを連動感をだすことでも、線引き基準的例があるとわかりやすいです。	大阪万博に関する連動のあり方については、関係団体等との調整や協議に応じて決定し実施していきますが、必要な許諾はJICAとして取得した上で実施する予定です。
12	P. 6	イベントの規模感	全体予算から算出するかもですが、イメージされているイベントの規模感をおしえてください。それによって、著名人の選出も変わってきます。	2023年度の実施については、主催者から何ら発表がないため未定ですが、例として、2022年に実施したグローバルフェスタでのイベントにかかる規模感(内容)での公開とオンライン配信を同時に実施したもので、受注者が著名人の起用交渉、台本作成、ステージ設備、当日運営を実施しました(オンライン配信は別契約に含め、本契約に含まない)。  イベントA：スポーツと国際協力に関するトークショー。内容に鑑みて、現役・元アスリートを3名起用。90分。 イベントB：大学生によるメッセージコンテストの決勝プレゼン。参加者との掛け合いを踏まえて、司会にお笑い芸人を起用。60分。 イベントC：南アジア地域に関するクイズショー。司会に元アナウンサー、回答者にお笑い芸人を起用。90分。
13	P7	7. 業務実施上の条件、留意事項(10)	著名人・有識者の候補者提案は企画提案時のポイントにならないという認識でよろしいでしょうか。(※承認後、候補者への調整作業の結果NGになる可能性もありますが、その上でのご提案でよろしいのか)	ご理解のとおりです。

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
14	P7	7. 業務実施上の条件、留意事項 (9)	通番1と同様ですが、著名人・有識者の選定は企画提案時のポイントにならないという認識でよろしいでしょうか。 二次利用の条件についても調整後の確認になるかと思ます。	ご理解のとおりです。
15	P7	7. 業務実施上の条件、留意事項 (11)	企画提案時に重複がなく、かつ相乗効果が図れる企画であることが条件であれば、公示の際に内容をある程度ご教示頂くことは可能でしょうか。	本契約については、JICAのWebサイト、広報誌、SNS (Facebook、Twitter等)、JICA地球ひろばで実施する学生向けの開発教育事業や各種セミナー、イベント等との連動が望まれます。各媒体で扱うコンテンツについては、公開されているもの以外を公示段階で提示することは困難ですが、詳細が決まり次第、受注者に対し都度共有し、ご相談させて頂く予定です。